平成２８年　月　　日

（案）

　南相馬市長　　桜井　勝延　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 鹿島区行政区長会長　丹野　常昭

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　鹿島区地域協議会長　五賀　和雄

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　鹿島商工会長　澤田一夫

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　鹿島観光協会長　澤田一夫

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高校保護代表

**JR常磐線鹿島駅無人化に伴う要望書**

**平成23年3月11日に発生しました東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故以来、復興・再生に向け復興総合計画に基づき「みんなでつくる　かがやきとやすらぎのまち　南相馬」の再興に昼夜を問わずご尽力を頂いておりますことに敬意を表します。**

**お陰様をもちまして、鹿島区内における復興関連事業もほぼ予定どおりの進捗で推移しておりますこと更には、南相馬鹿島スマートインター、セデッテかしまの盛況ぶりは、復興・再生に向けた希望でもあります。**

**また、本年7月12日の避難指示区域解除に伴い、JR常磐線原ノ町駅から小高駅区間が再開され、本年12月10日には相馬駅以北が再開する見込みとなっており、JR常磐線の早期全線開通が望まれています。**

**JR常磐線は、仙台市と浜通り・東京方面を結ぶ唯一の鉄道路線であるとともに、沿線地域住民にとって地域間交通や文化交流を担う重要な公共交通機関であります。**

**しかし、このような状況の下、7月12日からJR鹿島駅が無人化となり、利用率の高い高齢者や障がい者など交通弱者が利用する際の緊急時の対応、安心・安全性の面や夜間の防犯面に対し、不安視する意見が数多くあるとともに、心ひとつに世界に誇る南相馬の再興を考えたとき、このタイミングで無人化になることは、鹿島区民の感情も市の一体感を損ねる要因になっているとの意見も多数ございます。**

**実際に駅員が配置されなくなった以降、女子学生が性犯罪に巻き込まれる事案が招じたことなども耳にしており、JRを利用して通学する学生の減少や公共交通のイメージダウンにもつながる恐れが生じています。**

**平成28年9月市議会定例会においては、南相馬市特定用途建築物の建築に係る手続条例制定が可決され、市内の快適な生活環境の保持、良好な近隣関係の形成や復興事業の推進と住民の帰還が促される施策の構築は、大変重要であると考えます。**

**このようなことから、ボランティア団体や市幹部職員による防犯パトロールを実施し、相互の信頼と協働のまちづくりを進めておりますが、今後鹿島区には、福島県立特別支援学校の開校が予定されており、同校の生徒が乗降し利用者数が増加することや、南相馬鹿島スマートインターから街なかに呼び込む施策構築などの観点から、JR鹿島駅に早期の業務委託による駅員を配置するようJR東日本水戸支社に対し、常磐線活性化対策協議会を通し要請するとともに、JR利用者、地域住民の不安の緩和、解消と南相馬市全体の快適な生活環境の確保を講じられますよう強く要望いたします。**